(一) 第161 昭和25年2月20日 (月曜日) 毎日新聞 (二百五円四百十円郵送料共150円—年300円) 昭和21年8月6日第三種郵便物認可 (週刊)

# 學園新聞

発行所 京都市左京区吉田中阿達町大学構内 京都大学新聞社 郵便口座番号500番 電話(京都)4局1番 (内線)45番

## 審議漸く大詰

### 日教組案は否決さる

大学管理法案審議委員会は、昨年7月1日発足以来、既に約一年間の審議を重ねたが、今月中旬頃までに、審議の結果を答申する予定である。

## 委員は二十三人

## 糟糠こそつて狭き門に

### 激減する旧制京大最後の志願者数

## 入試突破の体験談

## 学園評論

### 茨の道遠く

### 五十名既に退職

### 人員整理に学生強硬

## 授業料再び二倍値上か

### 新制京大ですでに闘争を準備

## 医

### 厳密な科学性が必要

### 法 歴史に不可欠な革命の意義

### 低下する研究力

## 基礎が絶対的

## 森林が調教家

## 音楽を民衆の手に

## 思想は問題外

## 前日迄努力を

## 警察権を行使か

### 紛糾を続ける京都府医大

## 一夜漬は法度

## 論理性が必要

## 社会性

## サロン

## 推進

### 教育局は答える


The New York Times. WEEKLY SUPPLEMENT INTERNATIONAL AIR EDITION
世界最高の権威ある週刊紙
原版ニューヨークより空輸 東京で印刷する日本一の外国紙
アメリカは こう見る！
世界的名社説の論調に関する アメリカ人の見解 内外批判の世界批判
ニューヨーク タイムズ 国際版
東京・大阪 朝日新聞社 西部・門司

アサヒニュース 朝日新聞国際通報
世界は動く
激動する世界情勢を完全に把握するには日刊紙だけでは無理です。日本を再建するためには正しい国際常識が必要です。
本紙は迅速な報道と適切な解説で一つの世界情勢を政治・経済・文化・科学全般にわたって追報する週刊新聞です。
朝日新聞社

理論 季刊12号 200円 150円
寄本勝美 著 現代行政の解明 200円
杉本栄一著 近代経済学の解明 200円
理論社

現代経済学全書
国松久彌 経済地理 200円
沖中恒禧 貨幣金融論 200円
掛貞光雄 日本経済史 200円
豊田四郎 日本資本主義論史 下巻 200円
小高泰雄 企業経理入門 千種義人 計画経済概論 労働文化社

人間 3月早春特集号 200円
二つの世界のアイロニー 福田恒存
戒厳令 森茂雄
中里恒子 久野収
小中陽太郎 岸田国士 切通真一郎 正宗白鳥 田村秀 佐藤健二 雄蔵士
駒井哲郎 窪田啓作 二郎 植矢五郎
宇野浩二 外村繁 山之口貘 佐々基一 林芙美子 花田清輝 寺田透
アンナ・カレーニナ

新刊 ボリス・パステルナーク 渡野隆 訳 フィガロの結婚 決定版 価一八〇円
中里恒子 自分としての俳諧 空会 三〇〇円
能勢朝次著 聯句と連歌 要書房

大学教養自然科学教科書 全4巻 一般教養 自然科学教科書
数学 物理学 化学 生物学
書斎用 光 近代思想物理学の発展 化学思想史
共立出版株式会社

現代日本小説大系 新刊 森鴎外集 中野重治 解説 時とともに常に新たなる！ 価180円
作・坪内逍遥・尾崎紅葉・泉鏡花・徳冨蘆花・田山花袋・島崎藤村・夏目漱石・森鴎外・正宗白鳥・谷崎潤一郎・芥川龍之介・菊池寛・志賀直哉・武者小路実篤・有島武郎・宮本百合子・横光利一・川端康成・太宰治・坂口安吾・石川淳・中野重治・中島敦・井伏鱒二・伊藤整・三島由紀夫・梅崎春生・椎名麟三・埴谷雄高・中村真一郎・福永武彦・堀辰雄・丹羽文雄・石坂洋次郎・舟橋聖一・高見順・中野好夫・大岡昇平・平野謙・佐多稲子・宮本顕治・武田泰淳・中村光夫・臼井吉見・山本健吉・河出書房

ジイド作 川口篤 訳 新刊 贋作者 背徳者
哲学講座 第三巻 哲学の歴史
哲学 唯物論入門
筑摩書房

アテネ文庫
ヒューマニズム 社会科学への道 人間の探究 ノーベル賞 共産党宣言 人権 自由と独裁 藝術とは何か ブランキスト議会 ブランキスト議会 唯物論入門 レイテ沖海戦 弘文堂

コミンフォルムと日本共産党

# 揺ぐ祖国の運命

## 平和と自立への團結を

長谷川 浩

コミンフォルムの非難をこれ程迄に騒ぎたてるのは、一体何故なのであろうか。それは、日本共産党の指導部が、コミンフォルムの非難を、自己の政治的立場を擁護するための口実として利用しようとしているからである。

一体、コミンフォルムの非難とは、どんなものであったか。それは、日本の現状は、ポツダム宣言の精神に反し、日本の民主的発展を妨げ、日本の平和と独立を危うくするものであるとして、日本共産党の指導部の、右翼的日和見主義的傾向を批判したものであった。

ところが、日本の共産党は、この批判を、自己の政治的立場を擁護するための口実として利用しようとしているのである。

日本の共産党は、コミンフォルムの非難は、日本の民主的発展を妨げ、日本の平和と独立を危うくするものであるとして、日本の民主的発展を妨げ、日本の平和と独立を危うくするものは、アメリカ帝国主義であるとして、アメリカ帝国主義の日本侵略を、あくまで、阻止しなければならないとしている。

日本の共産党は、コミンフォルムの非難は